



株式会社リソー教育
代表取締役社長

天坊 真彦

MASAHIKO TENBO

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、フジサンケイジュニアゴルフ選手権を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で早くも10回目を迎えます。数々の有名選手を輩出している伝統あるこの大会を、こうした形で応援できるのは当社にとってとても名誉なことです。皆さんは毎日の練習を通して、ゴルフ技術の上達だけでなく「ゴルフの精神」ともいうべき、エチケット・誠実さ・礼儀正しさやマナー・スポーツマンシップ・思いやり、また自然への敬意といった大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとって勉強はもちろん大切ですが、おけいこ事や習い事、スポーツなどに打ち込むことも大切です。それらを通じて、様々な目標に正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして、自分の好きなことに打ち込むなかで豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ支援活動をはじめとする社会貢献活動に取り組んで参ります。

さあ、ジュニアゴルフ選手権の開幕です。優勝した選手には、あのフジサンケイクラシックの本戦出場権が待っています。選手の皆さん一人ひとりが、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。



株式会社 産業経済新聞社
執行役員
サンケイスポーツ代表

吉川 達郎

TATSURO KIKKAWA

昭和63年に「ジャンボ尾崎杯フジサンケイジュニアゴルフ選手権」としてスタートし、ジュニアゴルファーの育成を目的に開催してまいりました本大会も、「TOMAS CUP」として節目の10回目を迎えることとなりました。大会も歴史を積み重ね31回目を迎え、「平成」最後の大会として本大会が開催できますことは、主催者として誠に大きな喜びです。

本大会歴代優勝者には池田勇太、藺田峻輔、今平周吾といった日本ゴルフ界を代表するトッププレーヤーが名を連ね、宮本勝昌、市原弘大、石川遼選手からも本大会から巣立っていきました。今年も全国各地から有望なジュニアゴルファーが集まってくださいました。これもひとえに、選手の皆さんや指導者、保護者の方々の深いご理解とご尽力のたまものと感謝いたしております。

この大会の魅力の一つとして、「ジュニアオープンの部」優勝者に男子プロゴルフツアー「フジサンケイクラシック」の本戦出場権が与えられます。近い将来、本大会出場者の中から世界を舞台に活躍するプロゴルファーが誕生し、サンケイスポーツの一面を飾る選手が現れるかもしれません。皆さんの活躍を大いに期待しております。

また競技以外でもゴルフ界で活躍されている方の講演や懇親パーティーなど様々な取り組みを行っています。是非この大会で「勝負の厳しさ」を実感すると同時に、「ゴルフの楽しさ」を再度体感していただき、充実した三日間を過ごしていただければと思います。

最後に、本大会の開催にあたり多大なるお力添えをいただいた競技委員や運営委員の方々、特別協賛のリソー教育グループ様をはじめ協賛各社の皆様、そして深いご理解で会場をご提供くださったロイヤルスターゴルフクラブの皆様に厚く御礼申し上げます。



リソー教育グループは、フジサンケイジュニアゴルフ選手権の特別協賛を通じて、子どもたちの個性を開花させる「プラスワン」教育を推進しています。